

「京都マラソン2026」において日本管財が警備業務を実施

～7つの世界遺産を巡るコースで大会の安全運営をサポート～

オフィスビルや商業施設等の建物管理運営事業や住宅管理運営事業、不動産ファンドマネジメント事業等を手掛ける日本管財ホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：福田 慎太郎、以下「当社」）は、グループ会社である日本管財株式会社が、2026年2月15日（日）に開催された「京都マラソン2026」において警備業務を担当し、大会の安全な運営をサポートしたことをお知らせいたします。



京都マラソン2026について

京都マラソンは、「市民スポーツの振興」、「京都の魅力を国内外に発信」、「京都・日本の活性化」を目的とした都市型市民マラソン大会です。大会メインコンセプトは「DO YOU KYOTO?マラソン」「みんなが主役」。環境先進都市・京都にふさわしい大会として、環境に配慮した様々な取り組みが行われています。

今大会は、16,000人が出走し、「マラソン」抽選枠の倍率は2.7倍と昨年度（2.1倍）を上回る結果となりました。

フルマラソンのコースは、西京極総合運動公園をスタートし、「金閣寺」や「銀閣寺」など7つの世界文化遺産周辺を巡り、平安神宮前でゴールする、京都の歴史と景観が楽しめるコースです。沿道の13箇所では、ダンスや演奏でエールを送る「沿道盛り上げ隊」や、どなたでも参加できる「ハイタッチゾーン」が設置され、ランナーと観客が一体となって大会を力強く後押ししました。

参考：「京都マラソン2026 | みんなが主役」（公式ホームページ）（<https://kyoto-marathon.com/>）



日本管財の取り組み・担当者コメント

日本管財は2014年の第3回大会より警備業務を担当しています。

本大会では、日本管財のスタッフ80名弱、警備員等配置2,700名弱の体制で「安全・安心・円滑な大会運営」に寄与することに全力で取り組みました。

担当した特別警備対策グループは、「京都マラソン事務局さまや関係機関さまと1年間を通じて打合せをさせていただき、現地実査を経て、“安心・安全・円滑”な大会となるよう、計画書の策定や当日運用に尽力しました。」と語りました。

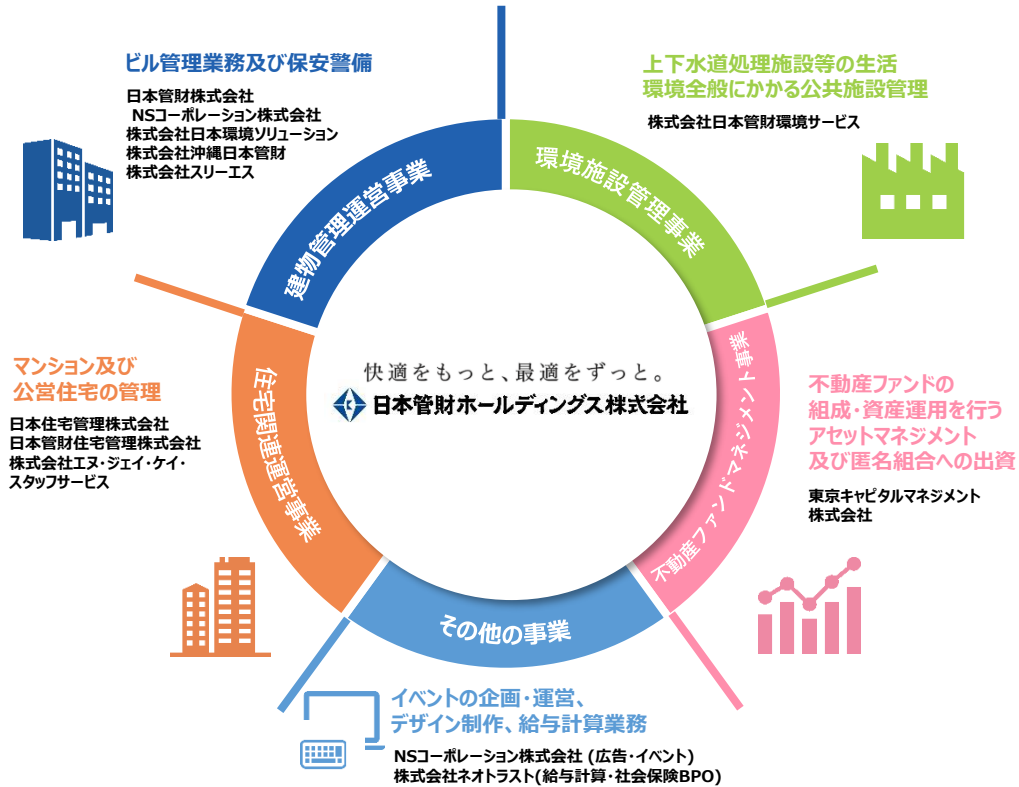
日本管財は今後も、各種イベントに応じた警備体制を構築し、安全で円滑な運営の実現に努めてまいります。



日本管財グループについて

日本管財グループは1965年に設立し、現在は国内及び海外で建物管理運営事業、環境施設管理事業、住宅関連運営事業、不動産ファンドマネジメント事業等を展開しています。独立系であることを強みに、オフィスビル、商業施設、ホテル、教育機関、公共施設など、幅広い用途に携わっています。

日本管財ホールディングス株式会社は持株会社として2023年に設立し、グループ経営機能に特化しています。



会社概要

社 名 : 日本管財ホールディングス株式会社
所在地 : 東京都中央区日本橋2丁目1番10号
設 立 : 2023年4月3日
代表者 : 代表取締役社長 福田 慎太郎
資本金 : 3,000百万円
事業内容 : オフィスビル、集合住宅、環境施設等の管理運営事業や不動産ファンドマネジメント事業等を営むグループ会社の経営管理及びこれに附帯又は関連する業務
U R L : <https://www.nkanzaihd.co.jp/>